

## 島根県のインドとの経済・学術交流の動き

経済団体の動き	山陰インド協会設立 (H25. 6)	山陰とインドの友好的な経済交流の推進による、国際理解・親善の推進、山陰両県の産業経済及び地方文化の向上発展を目的として設立
	インド・ケララ州と中海・宍道湖・大山圏域官民が覚書を調印 (H27. 12)	県境をまたぐ自治体の共同体がインドの州政府と経済交流を目指す覚書を交わすのは全国初 【参加団体】 ・中海・宍道湖・大山圏域市長会 （会長・松浦正敬松江市長） ・中海・宍道湖・大山ブロック経済協議会 （会長・古瀬誠松江商工会議所会頭） ・インド南部ケララ州政府 ・印日商工会議所ケララ（INJACK）
	インド・ケララ州のITエンジニア・理工系学生が県内で企業研修・就業体験を実施 (H29. 1)	松江市インドIT人材受入・企業誘致調査事業実行委員会（市長会、島根県など官民12団体）が企画。エンジニア5人と学生6人が参加
県内企業の動き	三光（総合リサイクル業）	ケララ州の最大都市・コチ市に、生ゴミや汚泥などの有機物を微生物の力で分解・堆肥化するプラントの導入を検討
	松江土建	ダム湖や湖沼の貧酸素状態を解消する水環境保全システム導入を検証
	三菱マヒンドラ農機	インドの農機大手、マヒンドラ・アンド・マヒンドラ（M&M）とトラクター部品を相互供給
学術交流	島根大学とインド・ケララ州の国立コーチ理工大が協定を締結 (H28. 5)	情報技術（IT）や物理などの理工系分野を中心に、学生交流や共同研究を促進する協定を結ぶ。 島根大学がインド国内の大学と協定を結ぶのは3例目
	島根県立大学インド企業研修 (H23～)	毎年、島根県立大学の学生15人程度がインドの企業・大学を訪問